

＼ 京教の施設やスペースに愛称をつけてみませんか？ ／

ネーミングライツ パートナー募集！



京都教育大学ネーミングライツの3つのメリット

知名度 UPI

看板、HP、印刷物等など、
様々な場面で企業・団体名
が発信されます。

施設名として広く認知され、
ブランド価値を高めます！

イメージ UPI

ネーミングライツ料は、未
来の教員を養成するための
教育環境整備などに活用さ
れます。

社会貢献に取り組む企業姿勢
を効果的に発信できます！

関係性 UPI

大学に加えて6つの附属学
校園施設もネーミングライ
ツ対象施設です。

共同研究や教材研究で教員
と、また学生・生徒とともに
プロジェクト事業を行うこと
も可能となり現場との連携が
広がります！

導入施設やネーミング内容についてのご提案は随時受付中です！
お気軽にお問い合わせください！！

お問い合わせ
お申し込み

京都教育大学 施設課
TEL 075-644-8135
MAIL keikaku@kyokyo-u.ac.jp

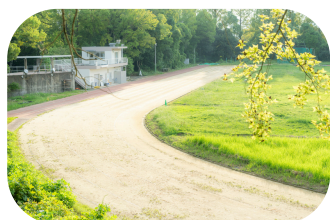


ネーミングライツ導入施設例



①体育館

学生や外部団体も利用するため、学生や地域の利用者との接点が多く、健康・スポーツ分野に関心のある企業のPRに適した施設です！



②陸上競技場

普段は陸上競技部が活動していますが、休日には小学生や大人対象のスポーツ教室を開催するなど、地域の方に向けたPRができます！



③大講義室 2

学内最大の講義室で多くの学生が日常的に利用する施設です。外部団体の研究会・発表会などに使用されるため、学生含め多くの方へのPRやブランド認知向上に最適な空間です！



④講堂

入学式や卒業式などの式典、その他様々な場面で使用されています。

正門を入ってすぐに位置しており、多くの来訪者の目に触れるため、高い認知効果とインパクトが期待できます！



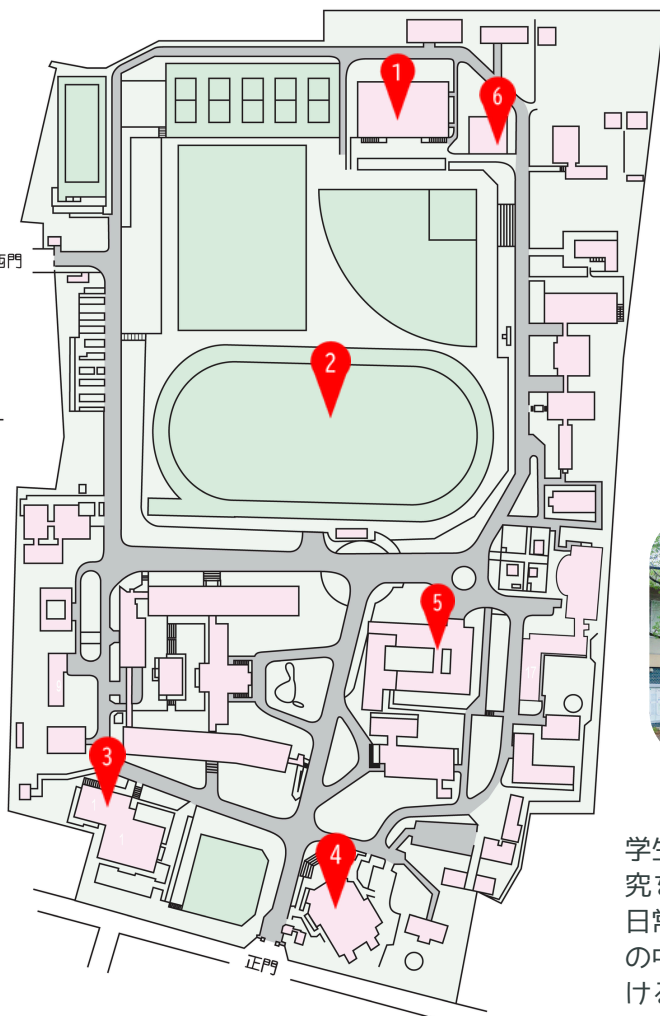
⑥武道場

幼児教育や体育の授業の他、合気道部・剣道部などの学生団体が利用しています！



⑤附属図書館

学生の学修および教職員の教育・研究を支える、学内の知的拠点です。日常的に利用される落ち着いた環境の中で、ブランドを継続的に印象づけることができます！



その他、学生が集うリフレッシュスペース等、
附属学校園の施設も対象となります！

